

ハンセン病療養所教会通信

No. 1

2023年2月12日

日本聖公会のハンセン病療養所教会所在地 (赤字)



全国ハンセン病国立療養所内キリスト教会一覧

松丘保養園	多摩全生園
(単立)松丘聖生会	(単立)秋津教会
日本聖公会 松丘聖ミカエル教会	日本聖公会 聖フランシス聖エリザベス礼拝堂
松丘カトリック 愛徳会	カトリック愛徳会
東北新生園	駿河療養所
日本新生キリスト教会	日本基督教団 神山教会
(単立)キリスト教信交会	駿河カトリック教会
カトリック暁の星会	長島愛生園
栗生樂泉園	(単立)長島曙教会
日本聖公会 聖慰主教会	カトリック・ロザリオ教会
草津カトリック教会	

邑久光明園		沖縄愛楽園
日本基督教団		日本聖公会 愛楽園祈りの家教会
光明園家族教会		カトリック 聖フランシスコ・ザベリオ教会
大島青松園		宮古南静園
(単立)大島靈交會		キリストの教会
大島カトリック聖心使徒会		日本聖公会 南静園聖ミカエル教会
菊池惠楓園		カトリック イエズスの聖心教会
日本聖公会 菊池黎明教会		
恵楓園カトリック教会		神山復生病院
星塚敬愛園		日本聖公会 降臨教会礼拝堂
(単立)恵生教会		コール館(元待労院診療所)
星塚カトリック教会		MTL
奄美和光園		好善社
日本基督教団 名瀬教会 和光伝道所		
カトリック・ダミアノ教会		

ハンセン病問題への理解が深まるための祈り：2023年2月12日

(毎年顕現後第6主日をハンセン病問題啓発の日とし、その日にはそれに相応しい祈祷を捧げる。顕現後第6主日がない年は大斎節前主日の直前の主日。)

慈しみ深い神よ、み子イエス・キリストは病氣のために差別された人々を深く憐れみ、み手を差し伸べて癒されました。キリストに倣って生きる者とされたわたしたちは、一人ひとりが大切にされて生きる社会を築こうと願い求めます。ことにハンセン病を患ったために社会から見捨てられ、苦渋の人生を生きなければならなかつた人々の苦しみを思います。これまでに、この苦しみに关心を寄せせず、また差別する社会を改める働きをしてこなかつたことを思い、懺悔いたします。どうか、すべての人々が、この病氣の事実、また回復者の現実など、ハンセン病をめぐる問題を理解することによって、み心にかなう社会を建設することができますように、多くの苦しみの中にある人々の友となり歩まれたみ子、わたしたちの主イエス・キリストによってお願ひいたします。アーメン

療養所教会からの近況報告

日本聖公会の療養所各教会の近況をお知らせいたします。

＜松丘聖ミカエル教会＞

松丘聖ミカエル教会管理牧師 司祭 長谷川 清純

新型コロナウィルス感染防止のため、松丘保養園は2020年1月からの構内立ち入り禁止が継続されています。松丘聖ミカエル教会も制限下にあり礼拝は、この間1度も行われていません。9月29日聖ミカエル日恒例の主教巡回も、3年連

続で見送られました。

現在信徒は 104 歳を筆頭に 98 歳、95 歳、90 歳の女性のみの計 4 名です。直接会話は不可能ですが、青森聖アンデレ教会麦の会からイースターとクリスマスにカードを送り、また誕生日に司祭からメッセージカードを送り、それらを保養園の職員が朗読して聞かせてくれていますのが、唯一のコミュニケーション手段になっています。

建物維持のためには、青森聖アンデレ教会信徒数名と司祭が保養園から特別許可を得て、昨年は 1 回だけでしたが清掃をしました。

＜南静園聖ミカエル教会＞

南静園聖ミカエル教会管理牧師 司祭 戸塚 鉄也

南静園の入園者は現在 38 名、ミカエル教会の現在堅信受領者は 5 名です。昨年久しぶりの逝去者が 1 名ありました。コロナになって以来園内への訪問はできず、礼拝堂の祈りが体力の弱くなったためになくなり家庭集会となっていましたが、これも開催不可能です。町の若い人達の訪問でいきいきしていた方はすっかり弱くなっています。老朽化した礼拝堂は取り壊すしかない状況です。

町の教会のメンバーが時々間安の電話をしたり、教会の祝日に園の福祉課を通してプレゼントやカードを届けたりしています。

20 年前は漁の得意な方が自分の舟を出しみんなで貝とりに行きましたが、舟を出す人もいなくなりました。天国のミカエル教会のほうが地上よりも活発になっています。日本最南端の療養所のためにお祈りお願ひいたします。

＜聖慰主教会＞

聖慰主教会牧師 司祭 松浦 信



明治以前から降湯治場であった草津温泉には、様々な疾病と共にハンセン病者も多く訪れました。しかしハンセン病は他の病気と比べて顔かたちが著しく損なわれるため、町の当局から差別的に取り扱われ、明治 20 年に草津温泉の湯の川の下流に位置する湯之沢という場所に半強制的に移住させられました。病者によって持ち込まれるお金が唯一のこの町の収入源であることから、法外な宿賃、治療費などがかさみ、無一文になるものも多く、博打に手を出したり絶望や苦しみの故に自殺する者も多かったのです。

このように湯之沢の集落では、法外な宿賃や治療費の故に裕福であった宿屋、またある程度経済活動を行うことができた職業定住者、そして最下層の人々の群れがあったのです。英國聖公会宣教師コンウォール・リーは、この集落で既に熊本のハンナ・リデルから派遣された米原司祭によって形成されたキリスト教団体「光塩会」の求めに応じて湯之沢で聖バルナバ・ミッショナリという福祉、医療、教育を含めた事業を始めました。

コンウォール・リーとそのスタッフによるこの事業は、病者の人々に人としての希望と喜びに満たされたそうです。

国は昭和6年に癩予防法を施行し昭和7年に国立療養所栗生楽泉園を設置しました。それは湯之沢を吸収するのが目的でしたが、町による合法的に存在している湯之沢を簡単には吸収できず、昭和16年まで湯之沢は存在し続けました。

昭和14年に楽泉園内に米国聖公会の寄付などにより聖慰主教会が設立されました。戦争中は多くの方が亡くなりました。戦後聖慰主教会の信徒は200名を超える時期もありました。しかし昭和50年代には、間もなく終焉期を迎える、ということを意識している文書などもありました。

牧師であるわたし松浦が赴任した時（20年前）には48名の信徒がおられましたが、現在は園内（回復者）8名園外2名の現在堅信受領者がおられます。先代から不自由舎と病棟の聖餐、墓地礼拝、定期的な訪問を受け継ぎました。かつて盛んであった家庭集会はわたしの赴任時すたれておりました。この数年コロナの影響により面会や礼拝の制限が厳しく行われてきましたが2023年1月現在、検温や体調を福祉室に報告し許可を得たうえで面会（病棟以外）と礼拝を行っています。

礼拝には2、3名の出席で行っています。最後まで寄り添うこと、またこの信徒たちが活きて来たことの証を残していくことが今後の課題であると思います。2022年から清瀬聖母教会・聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂と草津聖バルナバ教会・聖慰主教会は交流教会となっています。どうぞ、お祈りください。

＜愛樂園祈りの家教会＞

沖縄教区愛樂園祈りの家教会の近況

牧師 司祭ベネディクト高英敦

私が2015年沖縄教区の母教会とも言える愛樂園祈りの家教会に赴任した当時の信徒数は76人で、毎主日教会の礼拝に出席する信徒の数は20人前後でした。その他の信徒は月1回行う家庭陪餐を通して信仰生活を続けました。

家庭陪餐は月1回主教が来訪し、一緒に各家庭を回ったのです。年1回訪問して来た立教大学GFSメンバーも一緒に家庭陪餐に参加させましたが、陪餐を待つ信徒たちの姿を通して感銘を受けたりもしました。教会の礼拝に出席できない信徒の中には信心が篤くて毎日ラッパルームを読みながら牧師の為に、信徒の為に一人でお祈りする方もおられたのです。

コロナ禍の以前には、信徒訪問もいつでも自由に出来て週一回位は会うことが出来たのです。コロナ禍の時代に入ってからは、残念ながらこのようなことが全くできなくなってしまったのです。教会での礼拝も信徒の出席が出来なくて、家庭の祈りの週報を作成配布しましたが、それを今まで続けることができております。

今は統制が少し緩和され、愛樂園の入り口の標識は「立ち入り禁止」から「立ち入り制限」に代わり、教会での礼拝も再開したのですが、相変わらず自由に信徒に会えない状態です。

信徒の平均年齢も90歳を超え、寄り添いの職員がいなければ動けない方がほとんどです。そういうわけで主日礼拝もほとんどの信徒が出席できない状態です。今は、70代の信徒2名、80代の信徒2名、そして牧師夫婦、時々オルガニスト、主教夫妻等6~9名が集まって礼拝を執り行っています。

何よりも残念なのは高齢化するにつれてお祈りがさらに必要になるのですが、病気になって横になっている信徒、臨終が近い信徒を訪問して祈ることができないということです。

一日も早くコロナ以前に戻れることを祈ります。



(2022年復活日に撮った写真)

＜聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂＞

全生園聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂の現況

チャプレン 司祭マッティヤ大森明彦



第二次大戦後、全生園内に聖公会の信徒がおられることが分かり、初めて聖餐式が行われた 1947 年 4 月 28 日を聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂の創立の日としています。翌年には園内の 7 名の会衆が集まり、1948 年からは清瀬聖母教会の工藤主教が先任チャプレンとして奉仕するようになりました。礼拝堂は 1950 年 11 月 15 日に献堂され、やがて改築され 1960 年 10 月 4 日・アシジの聖フランシスコの日に教区主教により献堂式が行われ、聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂と命名され、今に至っています。

現在在籍信徒は 7 名です。礼拝にお見えになれる方は 3 名で、残り 4 名の方は病棟で過ごされています。

日曜日午前 9 時の聖餐式は大切に守られています。外部から、奏楽奉仕者、サーバー、オルターの奉仕の協力を得て、7 名前後で礼拝をささげています。聖靈降臨日には聖母教会との合同礼拝が伝統行事となっていましたが、コロナ禍で 3 年連続中止となりました。言うまでもありませんが、コロナ時代に入ってから、外部からの立ち入りが厳しく制限されています。

主日以外の礼拝は、イースター前の聖土曜日の礼拝、11 月 2 日・諸魂日の礼拝堂での逝去記念聖餐式と納骨堂での墓参の祈り、それからクリスマス・イヴ礼拝だけになっています。

ホールには、歴代のチャプレン、宣教師や伝道師の写真が飾られています。また、これまで礼拝堂に在籍してきた方々の名札がボードに飾られています。1 列に 25 枚の名札が収まり、4 段あります。柔道や剣道の道場によく置かれている一枚ずつ取り外しができる名札です。1 段目右から逝去された順に並び、逝去者は 85 名を数えます。そして 4 段目の左側に現在在籍の 7 名の方の名前があります。

2022 年から草津聖バルナバ教会・聖慰主教会と清瀬聖母教会・聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂は交流教会となっています。

＜菊池黎明教会＞

菊池黎明教会牧師 司祭 ヨハネ 李 浩 平



菊池黎明教会は、
熊本県合志市国立療養所恵楓園内に位置しています。

2016 年熊本地震にあった礼拝堂を撤去し、
現在は信徒一人一人が主の聖殿の役目を果たしています。

現在信徒数 14名（園内 7名、園外 7名）、
現在堅信受領者 11名（園内 4名、園外 7名）です。

新型コロナ感染予防のための長い閉鎖（立ち入り禁止）がやっと部分解除されました。

現在毎月第3水曜日午前 10時半から 1時間の集会が、人数制限付きで許可され、

6名（園内からは 3名）での集い（聖餐式）をもっています。

まれに園内の信徒訪問が許されます。

園内の信徒さんは 80代、90代になられていますが、
病床生活中の方は、その状況の中でも「イエスを信じる命の旗」としての使命をよく果たしながら主を讃美しています。

集会（聖餐式）の雰囲気はいつも明るくて爆笑が続いています。

認知の方は性格が穏やかになられ、皆で嬉しがって感謝しています。

目の不自由な方…のために聖歌の歌詞を読んであげる手の不自由な方…のために聖歌集をめくってあげる方…のために椅子を引いてあげる方の風景が繰り広げられます。

感謝して主の愛のみ手にゆだね、何の問題も心配もありません。

＜星塚敬愛園旧恵生教会＞

元協力牧師 司祭 中島 省三

星塚敬愛園恵生教会の近況

鹿屋の国立寮所星塚敬愛園内にあります星塚敬愛園恵生教会は、1935年（昭和 10）12月 6日、沖縄から入園したクリスチヤンたちによって始められました。当初は聖公会の信徒が多かったので聖公会の祈祷書で礼拝を捧げていました。1946年（昭和 24）に教派の垣根を越えた単立教会になり、鹿屋近郊の諸教派の教役者が交代で礼拝をしていました。

鹿児島復活教会は月に 1回、金曜日に礼拝をしていましたが、高齢化に伴い金曜日に集まることが難しくなりました。そこで、毎週の礼拝を複数の教会で担当することになり、各教派で割り振り、鹿児島復活教会もその当番の中に入りました。鹿児島での日曜日の礼拝後、2時間かけて鹿屋に移動して礼拝と交流会を重ねてきました。

その後、さらに高齢化が進み、月に 1回の礼拝になり、鹿児島復活教会の当番は年間 3~4回になりました。礼拝後は出席できなかった信徒の居宅を訪問

していましたが、コロナの問題でそれも出来なくなりました。2021年5月31日に「高齢になり礼拝を守ることが出来なくなったので、やむなく恵生教会を解散します」との知らせを、恵生教会の信徒代表の方から受け取りました。最近では電話で連絡もつながりにくくなり、皆さんの状況が分かりにくい状態です。12月より、PCR検査で陰性であれば面会できるようになりましたので、それを利用して訪問しようと思っています。最盛期には100名を越す信徒がおられたのですが、現在信徒数は11名、内80歳以上が9名です。入院しておられる方も多くなっています。



2014年10月3日 恵生教会礼拝



2015年8月28日 恵生教会玄関にて

このハンセン病療養所教会通信がハンセン病啓発の日に合わせ、共に祈りでつながることができるためには是非お役立ていただけますよう、よろしくお願ひいたします。

2023年1月25日

各療養所教会牧師、チャプレン一同

管区人権問題担当者一同

管区人権問題担当主教

管区宣教主事、宣教主查

管区総主事